



第一労働国

2024年1月1日

No. 321 (新春号)

発行者 定広 文彦

編集者 教 宣 部

迎春



北アルプス：仙人池から裏谷を望む

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

第一支部から、新年のご挨拶を申し上げます。

約四年に渡ったコロナ禍もほぼ終息し以前の日常が戻り、人の移動にも活気が戻ってまいりました。

この間、会社はコロナによる減収を理由とした臨給の減額を行い、私達の生活に大きな不安と痛手を与えました。この度、一時金というかたちで要求を獲得しましたが、本来あったであろう収入の全てを補うにはいたっていません。引き続きコロナ感染のリスクを負いながら頑張ってきた社員の労苦に報いるよう要求して行きますよう！

第一支部は昨年一〇月一四日に第五九回定期大会を開催し新たな執行体制で新年を迎えました。分会も一二月に統廃合を実施し、連合分会の一分会となりました。組合員も少なくなったとはいえ運動を前進させなくてはなりません。

組織も高齢化が進み組織拡大も思うようになりませんが、全国では仲間の奮闘で拡大もみえています。もうひと踏ん張りしましょう！

高齢化社会の地域の足を守るため、子供たち孫たちの将来のためにも、線路を残せ！ 駅の無人化反対！ 人減らし合理化反対！ ワンマン列車拡大反対！と声を上げ続けましょう。安全・安心な社会、衣食住の安全を守るために、今年一年 全力を上げ楽しく運動を作っていきますよう。

私たち執行部一同、一丸となって頑張ることをお誓いいたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

二〇二四年 元旦

執行委員長 定広 文彦

執行副委員長 小寺 勝利

書記長 小野 昌胤

執行委員 小林 裕二郎

執行委員 小川 達也

執行委員 佐藤 修己

会計監査員 岡本 岩夫

会計監査員 平井 宏幸